

「赤旗」宣伝スポット

2025年12月

こんにちは。日本共産党が発行する「しんぶん赤旗」のお勧めにまいりました。確かな情報、真実を伝え、希望を運ぶ「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

※「しんぶん赤旗」日刊紙は、1カ月3497円。週刊の「赤旗」日曜版は、1カ月990円です。日刊、日曜版とも、スマホで読める電子版もあります。スクープ連発、政治を動かす「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●物価高で、暮らしの不安が増しています。高市政権は、アメリカいなりの軍備増強を優先し、国民の不安に向き合っていません。「赤旗」は大軍拡にキッパリ反対。平和と暮らしを守る新聞です。ぜひ、お読みください。

●「しんぶん赤旗」は、自民党の裏金スクープに続き、維新の税金還流疑惑をスクープ。自民・維新政権を揺るがしています。政治の闇をあばき、政治腐敗を一掃する「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●自民と維新の衆院定数削減案は、「身を切る」ではなく、「国民の声を切る」改悪です。企業・団体献金禁止こそ、国会で審議すべきです。定数削減のごまかしを暴き、民主主義のルールを守る「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

※繰り返し

●高市首相の「台湾発言」は、日本が攻撃されていなくとも中国と戦争がありうるという表明であり、撤回すべきです。中国も、対立をあおる言動を慎むべきです。反戦平和を貫いて103年。日本共産党の「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●軍事に軍事で対抗する悪循環は、戦争の危険を大きくします。日本共産党は、憲法9条を生かした外交の力で平和をつくる「東アジア平和提言」を出しています。平和を守る「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●日本の政治・社会の問題を外国人のせいにして、差別をあおる排外主義は、克服すべきです。高市内閣が助長する排外主義と、断固たたかい、人権を守る「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

※繰り返し

●消費税の減税は、最も有効な物価対策であり、国民の強い要望です。これにまったく応えない高市内閣には、物価高から国民生活を守る姿勢がありません。消費税減税・インボイス廃止へ頑張る「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●政府は、健康保険証「期限切れ」を言いますが、まだ使えます。マイナカード強制でなく、病院に安心してかかるよう、健康保険証存続を訴える「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●日本のコメ農家は、この20年で3分の1に激減しています。おコメが高いのは、政府が、農家をまともに支援せず、食料の安定供給に責任を持たないからです。食の安心・安全を確保する「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

※繰り返し

●中小企業への賃上げ支援を行い、最低賃金を、全国一律1500円に引き上げましょう。高市内閣が1500円目標を取り下げましたが、とんでもないことです。給料アップで暮らしを守る「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●広島、長崎への原爆投下から80年。核兵器禁止条約の参加国は99に広がっています。日本も早く署名・批准すべきです。核兵器廃絶をめざし、「核抑止力論」的道理のなさを明らかにしている「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●高すぎる学費を下げ、給付型奨学金を充実させて、学生が安心して学べる環境を作りましょう。日本共産党議員の質問で、大学の入学金「二重払い」解消がすすみました。「学費ゼロ」をめざす「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

※繰り返し

●「結婚するなら名字を変える」と、強制するのはおかしくありませんか。選択的夫婦別姓の実現で、強制をやめさせましょう。誰もが尊厳を持つて生きられるジェンダー平等社会をめざす「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●囲碁・将棋の新人王戦は、プロ棋士の登竜門として注目されています。囲碁の一流力遼（いちりき・りょう）名人、将棋の藤井聰太六冠も新人王経験者です。新人王戦を主催する「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。

●資本主義は、「利潤第一主義」で、地球環境を壊し、人間社会の荒廃をもたらします。資本主義の矛盾と限界を問い合わせ、それを克服する新しい道を探求する、日本共産党の「しんぶん赤旗」を、ぜひ、お読みください。